農林水産基本データ集 【令和7年1月1日現在】

*更新された年次、データ欄を赤字で記載しています。

項目		年次 (令和)	単位	直近 データ	前年 (前回)	増減率 (差)(%)	備考
	産出額	5年 (第一次年次推計)	兆円	1, 159. 86	1, 117. 50	3.8	内閣府「国民経済計算」、中間投入分の重複計上を含む
	農業・食料関連産業の国内生産額	4年	兆円	114. 22	109. 08	4. 7	シュア 10.2%、農林水産省「農業・食料関連産業の経済計
-str	うち食品産業	(概算)	"	96. 06	91. 60	4. 9	昇」 ジェア 8.6%、農林水産省「農業・食料関連産業の経済計 億」
産業担	国内総生産(GDP)	5年 (第一次年次推計)	兆円	591. 91	560. 51	5. 6	内閣府「国民経済計算」
規模	うち農業 林業	II II))))	4. 53 0. 27	4. 18 0. 28	8. 4 ▲5. 0	
	水産業	# 4年	JI III	0. 75	0.71	6. 4	シェア 8.8%、農林水産省「農業・食料関連産業の経済計
	農業・食料関連産業の国内総生産飲食料の最終消費額	(概算) 平成27年	兆円 兆円	49. 12	47. 67	3.0	算 前回は平成23年 農林水産省「農林漁業及び関連産業を中
自	4	5年度	, -, ,	83. 85	(76. 20)		心とした産業連関表(飲食費のフローを含む。) 」 目標 45%(12年度(令和2年食料・農業・農村基本計
給		(概算)	%	38 61	38 58	(0)	画)) 目標 75%(12年度 ("))
率	国産率・カロリー	"	"	47	47	(0)	目標 53%(12年度(〃))
自))))))))	67 27	65 26		目標 79%(12年度(〃)) 目標 34%(12年度(〃))
給力	自給力指標・米・小麦中心の作付け	5年度 (概算)	kcal/人·日	1,752	1, 736		1人・1日当たり推定エネルギー必要量は2,167kcal、
指標		II	11	2, 362	2, 386	(▲ 24)	総供給熱量の実績値(5年度)は2,203kcal t*-/は118.3kg(昭和37)、
· 消		5年度 (概算)	kg/年	51. 1	50. 9	(0.2)	を料需給表の「1人・1年当たり供給純食料」。以下同じ。
費量		II II))))	33. 9 12. 8	34. 0 13. 2		昭和40 (9. 2kg) の3. 7倍 昭和40 (6. 3kg) の2. 0倍
	販売 (売上) 金額			12.0	10.2	(=0.1)	PHYRIO (O. ORS) VIE. VIII
	農業生産関連事業	4年度	兆円	2. 18	2. 07		農業生産関連事業とは、農産加工、農産物直売所、観光
食料	うち農産加工 農産物直売所))))))))	1. 01 1. 09	0. 95 1. 05	6. 2 4. 0	農園、農家民宿及び農家レストランの各事業である
6	らず 水 茶加丁))))	"	0. 24 0. 18	0. 22 0. 17		漁業生産関連事業とは、水産加工、水産物直売所、漁家 民宿及び漁家レストランの各事業である
沙産	水产物声声形	"	"	0. 10	0. 03	15. 3	民間及び信念とハーフンの音楽である
業	從事者	. 6					
化等		4年度 "	万人	40. 3 16. 8	42. 3 18. 9	▲ 4.7 ▲ 10.8	
	農産物直売所 漁業生産関連事業))))	"	18. 1	17.5	3.7	
	うち水産加工	"	"	2. 8 1. 5	2. 8 1. 5	1. 5 3. 4	
	水産物直売所食品産業の就業者	" 5年	万人	0. 6 820	0. 6 808	0.0	 シェア 12.1%、就業者総数は6,747万人
	農林水産物輸入額	5年	兆円	12.80	13. 42	▲ 4.7	
	うち農産物 林産物))))))))	9. 06 1. 72	9. 24 2. 11	▲ 2.0 ▲ 18.3	
貿易	水産物		兆円	2. 02 1. 36	2. 07 1. 34	<u>A</u> 2.7	 目標 5兆円(令和12年)
	うち農産物	n'	"	0.91	0.89	2.2	H 10% 00011 (10 11 12 17)
	林産物水産物))))))))	0. 06 0. 39	0. 06 0. 39	▲ 2.6 0.7	
	農業総産出額	5年	兆円	9. 5 1. 5	9. 0 1. 4	5. 5	ピーク(は11.7兆円(昭和59) ピーク(は3.9兆円(昭和59)
産出	野菜	n	"	2. 3	2. 2	4.3	ピークは2.8兆円(平成3)
額		II II))))	1. 0 3. 7	0. 9 3. 5		ピークは1.1兆円(平成3) ピークは3.7兆円(令和5)
-	生産農業所得	5年	兆円	3. 3	3. 1		ピークは5.4兆円(昭和53) 経営耕地30a以上又は販売金額50万円に相当する規模以
	農業経営体	6年2月	万経営体	88. 3	92. 9	▲ 5. 0	経営耕地30名以上又は販売金額50万円に相当りる規模以上の農業を営む、又は農作業受託
	うち個人経営体 うち主業経営体	II II))))	84. 2 17. 7	88. 9 19. 1	▲ 5. 2 ▲ 7. 2	 農業所得が主、65歳未満の60日以上従事者あり
	準主業経営体 副業的経営体))))	"	10. 2 56. 4	11. 6 58. 2	▲ 12. 2	農外所得が主、65歳未満の60日以上従事者あり 65歳未満の60日以上従事者なし
	うち団体経営体	"	"	4. 1	4. 1	0.7	OUがX小川町V/OU II XA上版事名はし
経		ル o左o B	# FE	3. 3	(215.5)	1.2	前回は平成27年 経営耕地10~以上又け販売を額15万円以上
営体	<u> </u>	2年2月	万戸	174. 7 102. 8	(215. 5) (133. 0)		経営耕地10a以上又は販売金額15万円以上 経営耕地30a以上又は販売金額50万円以上
14	自給的農家	"	11	71. 9	(82.5)	▲ 12.9	経営耕地30 a 未満かつ販売金額50万円未満
	認定農業者	5年3月末	経営体	219, 896	222, 374		市町村等が農業経営改善計画を認定 令和6年調査では、令和6年能登半島地震の影響により
	集落営農 うち法人	6年2月	集落営農	13, 998 5, 748	14, 204 5, 748	▲ 1.5	石川県の6市町の集落営農については、調査を実施していない。
	農地所有適格法人	5年1月	法人	21, 213	20, 750	2.2	農地を所有できる法人の総称
	うち株式会社 農地のリース方式により参入した一般法人	5年1月))))	9, 173 4, 121	8, 667 4, 202	6. 2 ▲2. 0	特例有限会社を除く

項目		年次 (令和)	単位	直近 データ	前年 (前回)	増減率 (差)(%)	備考
	基幹的農業従事者	6年2月	万人	111. 4	116. 4	▲ 4, 3	ふだん仕事として主に自営農業に従事
	うち女性	"	"	43. 1	45. 2		TO TENDE IN C. O. CENTER INCOME.
ģ	平均年齢	6年2月	歳	69. 2	68.7	(0.5)	
值		5年 "	万人	4. 3 1. 6	4. 6 1. 7	▲ 5. 2 ▲ 5. 8	
7	催 用	"	"	0.9	1. 1	▲ 12.0	
	雇用労働者(常雇) (臨時雇)	2年2月 "	万人	15. 7 94. 8	(22. 0) (145. 6)	▲28.8 ▲34.9	前回は平成27年
	外国人雇用労働者(農林業)	5年10月末	"	5. 2	4. 4	18.0	厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況」
	1経営体当たり農業所得(全農業経営体) (個人経営体)	5年 "	万円 "	114. 2 114. 7	98. 2 103. 1	16. 3 11. 3	
	うち主業(個人経営体)	"	"	404. 2	362.9	11. 4	
x	1経営体当たり農業所得(法人経営体) ※ 米・全算入生産費(個別経営体)(10 a)	# 5 年産	円	79. 5 132, 863	▲ 76. 4	nc 3. 0	
信	(60kg)	"	"	15, 948	15, 273	4. 4	
Į.	X 米・全算入生産費(組織法人経営体)(10 a) (60kg)	5 年産 "	円 "	99, 462 11, 841	96, 875 11, 933	2.7 A 0.8	
	小麦・全算入生産費(個別経営体)(10 a)	5年産	円	74, 243	69, 551	6.7	
	(60kg) 大豆・全算入生産費(個別経営体)(10 a)	5 年産	"	8, 634 71, 073	8, 804 67, 320	▲ 1.9 5.6	
農	(60kg)	"	"	20,087	18, 912	6. 2	
業	耕地面積	6 年7月 ″	万ha "	427 232	430 234	▲ 0.6	 見通し 414万ha(12年) 、ピークは609万ha(昭和36)
	畑	"	"	195	196	▲ 0.5	
	かい廃面積拡張面積)) 	万ha "	3. 5 1. 0	3. 7 0. 9	▲ 5.4 11.6	
農	担い手の利用割合	6年3月末	%	60.4	59. 5	0.9	目標 担い手利用8割(5年度)
Í		5年	%	91.0	91. 3	▲ 0.3	目標 104%(12年)、ピークは138%(昭和31) 抜根、整地、区画整理、客土等により再生することに
	再生利用が可能な荒廃農地	5年度	万ha	9. 4	9.0	4.4	よって、通常の農作業による耕作が可能となると見込ま
	1経営体当たり経営耕地・全国	6年2月	ha	3, 6	3. 4	5. 9	れる荒廃農地
	" · 北海道	"	"	34. 1	34. 0	0.3	
H	ッ・都府県	6 年産	<i>"</i>	2. 5	2. 4	4. 2	
	水稲 (作付面積(子実用))	(概数値)	千ha	1, 359	1, 344	1. 1	ν°. hr 1 49¢ \(\tau_4 \) (Π/ξη 49)
	(収穫量)	"	千t	7, 345	7, 165	2. 5	ピークは1,426万t(昭和42) 目標 723万t(12年度、米粉用・飼料用除き)
	うち主食用(作付面積) (収穫量)))))	千ha 千t	1, 259	1, 242	1.4	
	作況指数	"	Τt	6, 792 101	6, 610 101	2.8	平成元年産以降で94以下の不良は15年(90)、5年(74)
	飼料用米(生産量)	5 年産 (実績)	手t	745	803	▲ 10.6	農産局調べ、 目標 70万t(12年度)
	小麦 (作付面積(子実用))	6 年産	∸ha	232	232	0.0	
	(収穫量)	(概数値)	† na ∓t	1, 023	1,094		 目標 108万t(12年度) 、ピークは179万t(昭和15)
	二条大麦(作付面積(子実用))	"	千ha	40	39	3.1	
	(収穫量) 六条大麦(作付面積(子実用))))))	千t 千ha	119 20	151 20	▲ 11.3 ▲ 0.5	
	(収穫量)	"	千t	54	64	▲ 15.8	├ 目標 23万t(12年度、大・はだか麦)
£))))	千ha 千t	5 12	6 17	▲ 1.1 ▲ 25.3	
彦	大豆 (作付面積(乾燥子実))	6 年産	1 tha	154	155		
	(収穫量(乾燥子実))	(概数値) 5 年産	† iia ∓t	261	243		 目標 34万t(12年度)
	そば (作付面積(乾燥子実))	5年産	千ha	67	66	2. 3	
	(収穫量(乾燥子実)) てんさい(作付面積)	5 年産	手t 手ha	36 51	40 55	▲ 11.0 ▲ 7.6	目標 4.0万t(12年度)
	(収穫量)	"	千t	3, 403	3, 545	▲ 4.0	目標 368万t(12年度)
	乳用牛 (飼養戸数) (飼養頭数)	6年2月 ″	千戸 千頭	11. 9 1, 313	12. 6 1, 356		令和2年から加工統計として取りまとめた。 生乳728万t(平成30年)、 目標 780万t(12年度)
	肉用牛 (飼養戸数)	"	千戸	36. 5	38. 6	▲ 5.4	令和2年から加工統計として取りまとめた。
	(飼養頭数) 豚 (飼養戸数)))))	千頭 千戸	2, 672 3. 1	2, 687 3. 4	▲ 0.6 ▲ 7.1	牛肉48万t(平成30年)、 目標 57万t(12年度)
	(飼養頭数)	"	千頭	8, 798	8, 956	▲ 1.8	豚肉128万t(平成30年)、 目標 131万t(12年度)
	採卵鶏 (飼養戸数) (飼養羽数)))))	千戸 千羽	1. 6 168, 599	1.7 169,810	▲ 3.0	 鶏卵263万t(平成30年)、 目標 264万t(12年度)
	ブロイラー(飼養戸数)	"	千戸	2. 1	2. 1	2.4	
	(飼養羽数)	"	千羽	144, 859	141, 463	2.4	鶏肉160万t(平成30年)、 目標 170万t(12年度)

		項目	年次	単位	直近	前年	増減率	備考
-AH		(令和)	辛业	データ	(前回)	(差)(%)	Ü⊞ ⁴⊐	
	農村	農業集落	2年2月	万集落	13. 8	(13. 8)	0.0	前回は平成27年、全域が市街化区域の集落を除く
農	都上	市街化区域内農地面積	5年度	万ha	5. 7	5. 8	▲ 1.7	総務省「固定資産の価格等の概要調書」
長村	市農	うち生産緑地面積	"	"	1.2	1.2	▲ 1.8	国土交通省「都市計画年報」
4.0	業	市民農園	5年3月末	農園	4, 308	4, 235	1.7	農村振興局調べ
	被害	野生鳥獣による農作物被害	5年度	億円	164	156	5. 1	被害防止計画作成数1,517市町村(令和5年4月)
		総合農協	4年度末	組合	553	569	▲ 2.8	
	農	農協組合員	4年度末	万人	1,027	1,036	▲ 0.9	
	協	うち正組合員 准組合員)))))))	393 634	402 634	▲ 2.1 ▲ 0.1	
	1	農協への貯金総額	6年10月末	兆円	108. 7	109. 6		農林中金調べ、前年は令和5年10月末
		農業委員会	5年10月	委員会	1, 696	1,697	▲ 0. 3	展作中亚洲· 、 的平は1740年10万米
団体		農業委員	5年10月	人	23, 029	22, 995	0. 1	
144		うち女性委員	11	"	3, 216	2,905	10.7	シェア 14.0%
		農地利用最適化推進委員	5年10月	人	17, 595	17,660	▲ 0.4	
	~	農業共済組合等	4年4月	組合等	49	56		t°-クは10,907組合等(昭和30) 前回は令和3年4月
	0)	土地改良区	6年3月末	地区	4, 095	4, 126		ピークは13,163改良区(昭和36) ピークは13,748人(昭和39)
		普及職員	5年度末	人	7, 104	7, 194	▲ 1.2	普及職員とは、普及指導員及び実務経験中職員等
	自給率	木材自給率	5年	%	42. 9	40. 7	2. 2	ボトムは平成14年の18.8%
	・産	林業産出額	4年	兆円	0. 58	0. 55	6.4	ピークは1.16兆円(昭和55)
	出	うち木材生産	"	"	0.36	0. 33		ピークは0.99兆円(昭和46)
	額	栽培きのこ類生産	"	"	0. 21	0. 21	▲ 0.6	t°-ウは0.24兆円(平成3)
		林業経営体	2年2月	万経営体	3. 4	(8.7)	▲ 61. 0	前回は平成27年、保有山林3ha以上で施業を行うもの、 又は林業作業の受託を行うもの、若しくは、年間素材生
	経	うち法人	"	"	0.4	(0.6)	▲ 26. 9	産200㎡以上のもの
		林家	"	万戸	69.0	(82.9)	▲ 16.8	前回は27年、保有山林 1 ha以上
森	体	林業従事者	2年10月	万人	4. 4	(4. 5)	▲ 3.8	総務省「国勢調査」、前回は平成27年
林	•	うち65歳以上	<i>II</i>		1.1	(1. 1)		総務省「国勢調査」、前回は平成27年
		新規林業就業者 1 経営体当たり林業所得	4 年度 5 年	万人 万円	0. 31 144. 5	0.30 103.8		林野庁調べ 前回は平成30年、令和5年より一戸一法人を除く
林	働力	製材業・工場数	5年(概数)	工場	3, 749	3, 804	▲ 1.4	
業	JJ	合単板製造業・工場数	り 十 (M ₍		164	155	5.8	
		木材チップ製造業・工場数	"	"	1, 119	1, 110	0.8	
		林野面積	2年2月	万k㎡	24. 8	(24. 8)		前回は平成27年
		国土面積に占める森林の割合	令和4年3月末	%	67	(67)		前回は平成29年
	林	うち人工林の割合	"	"	40	(41)		前回は平成29年
		国有林の割合 きのこ類生産量	" 5年	』 万t	31 44	(31) 46	(0) ▲ 5, 0	前回は平成29年
	生	素材生産量	5年(概数)	万 t 万 m ³	2, 064	2, 208	▲ 5.0 ▲ 6.5	
	産	製材品出荷量	り十(帆奴))) m II	796	860	▲ 7.4	
	団	森林組合	令和4年度末	組合	607	610	▲ 0.5	
	体	森林組合員	"	万人	147	148	▲ 0.7	

			/E.V/o		古汇	公 左	なる金銭	
項目		年次 (令和)	単位	直近 データ	前年 (前回)	増減率 (差)(%)	備考	
	自給	魚介類自給率(食用)	5年度 (概算)	%	54	56	(A 2.0)	目標 94% (14年度)
	率	1人・1年当たり消費量・魚介類	"	kg/年	21. 4	21. 5	(▲0.1)	t°-クは40.2kg(平成13)、 食料需給表の「1人・1年当たり供給純食料」
	産	漁業産出額	4年	兆円	1. 57	1. 37		ピークは2.96兆円(昭和57)
	出	うち海面漁業・養殖業	"	"	1. 44	1. 25		ピークは2.76兆円(昭和57)
	額	内水面漁業・養殖業 生産漁業所得))))))))	0. 14	0. 12	13. 6 7. 4	ピークは0.20兆円(昭和57)
		生産 (無人) (特) (特) (共産) (共産) (共産) (共産) (共産) (共産) (共産) (共産	5年11月	万経営体	0. 74 6. 57	0. 69 (7. 91)		前回は平成30年
	経	内水面漁業経営体	J-1171	川田百件	0. 41	(0.48)		前回は平成30年
	営体	漁業就業者	"	万人	12. 1	(15. 2)		前回は平成30年 15歳以上、海上作業に30日以上従事
	•	うち65歳以上	"	"	4.8	(5.8)		前回は平成30年
		新規漁業就業者	5年度	万人	0.17	0.17		水産庁調べ
		沿岸漁家の漁労所得	4年	万円	378	298	26.8	制度受取金等(漁業)を含む
水産		燃油価格	7年1月	万円/kl	10. 7	(10.5)	1.5	前回は6年12月 (全漁連京浜地区のA重油価格であり、主に20トン未満 の漁船への供給について適用)
業	水域	排他的経済水域面積	_	万k㎡	447	-	_	国土面積(37.8万km²)の約12倍
	環境	藻場面積	2022年	万ha	16. 6	-	-	日本国温室効果ガスインベントリ報告書2024 年
		漁業生産量	5年(概数)	万 t	372	392		ピークは1,282万 t (昭和59)
		海面漁業	"	"	282	295		ピークは1,150万 t (昭和59)
	d.	うち遠洋漁業	"	"	20	26	▲ 22.7	
	生	沖合漁業	"	"	178	180	▲ 1.5	
	産	沿岸漁業 海面養殖業	,,	"	84 85	89 91	▲ 4.7	 ピークは134万 t (平成6)
		内水面漁業	"	"	85 2	2		ピークは134万 t (平成6)
		内水面養殖業	"	",	3	3		t°-/は10万 t (昭和63、平成元)
	SA.	漁船	5年11月	万隻	10. 9	(13. 2)		前回は平成30年
	漁村	漁港	6年4月	港	2,774	2,777		平均で海岸線12.8km毎に存在
	们	漁業集落	5年11月	集落	6, 303	(6, 298)		前回は平成30年、平均で海岸線5.6km毎に存在
		漁協(沿海地区漁協)	5年度末	漁協	850	861		ピークは3,542漁協(昭和30)
		漁協組合員	4年度末	万人	25	26		統計調査開始時は約70万人(昭和25)
	被	被災農地面積 うち津波被災	平成23年3月	ha "	24, 477 21, 476	_	_	統計部、農村振興局調べ
	害規	農林水産関係被害額	平成24年7月	兆円	2. 4	-	_	大臣官房調べ
	規模	うち農林業関係	"	"	1. 1	_	_	7 1 1 2 1 2 1
東	佟	水産関係	"	"	1.3	_	_	
日本大		農地	6年3月末	%	96	(96)		農村振興局調べ、津波被災農地から農地転用が行われたもの(見込みを含む)を除いた復旧対象農地面積(19,640ha)に対するもの、前回は令和5年3月末
震	復	木材加工流通施設	平成27年2月末	IJ	100	(100)	(0)	林野庁調べ、再開を希望する41箇所に対するもの
震災関連	促旧状況	漁港(陸揚げ機能)	4年3月末	%	100	(100)	(0)	水産庁調べ、被災した319漁港に対するもの、前回は平成30年3月末で部分的に陸揚げ機能が回復した漁港を含む
	沈	漁船	6年3月末	"	94	(94)	(0)	水産庁調べ、復旧を目指す20,000隻に対するもの、前回 は令和5年12月末
		水産加工施設	3年12月末	11	98	98	0	水産庁調べ、被災3県で再開を希望する767施設に対する もの、前回は令和2年12月末